

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入くだ

さい）

口座番号 00980-9-116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail: rokkodafund@kobe-u.com

## 水島鍬也先生「生誕150年記念事業」のご紹介

生誕150年記念事業実行委員長 高 崎 正 弘

はじめに

今年、神戸高等商業学校水島鍬也初代校長の生誕150年を迎えます。150年という長き時を経て、なおその記念行事を企画すべきではないかという話が出された時、正直言って私も含めやや意外な感をもたれた凌霜会員も多かったと思います。しかし、先生の残された足跡を調べるうちに、今まさに、高等教育界のみならず社会全体が直面している諸課題に対する多くの示唆を残しておられることを学び、出来る限り多くの皆さんにこのことを知っていただきたいとの想いから実行委員会を立ち上げた次第です。

今回の事業の理念・意義・狙いは、水島神戸高商初代校長の教育者としての姿勢を振り返ることを通じて、今、我が国教育界のみならず社会全体が問われている「人」を基本とした血の通った繋がり・絆に思いを馳せ、明日の神戸大学や地元神戸、

更には先生の生誕地である大分中津の活性化に少しでも繋げていきたい、まさにこの一点に尽きます。決して思い付きや懐古趣味で始めたものではありません。

今は亡き平井泰太郎先生が執筆された名著「水島鍬也」によりますと、元治元（1864）年6月29日大分中津生まれの先生と神戸とのご縁は、明治10年、実父のご逝去をきっかけに姫路の伯父に引き取られ、翌年、姫路中学に入学されたことに始まっています。長じて教育界のみならず実業界の経験を経て、我が国高等教育界、就中<sup>なかんずく</sup>中等商業教育界の揺籃期に大活躍され、関東大震災等の影響で議会決定から遅れること6年、昭和4（1929）年の神戸商業大学への昇格を待たず、その前年に逝去されました。この間、大学昇格に目途がついた大正14（1925）年には、教授会、凌霜会、学生による留任懇願運動が湧きおこるなか、惜しまれつつ神戸高等商業学校校長の職を辞します。

大学昇格問題が起こってからその日まで、当時の文部省との折衝の傍ら、世界で活躍する国際的商業人の育成に向けて、教授陣の充実や海外派遣、昇格後を見据えた後継者の育成など諸施策を打って後日に備えられました。

人と人との絆やグローバル人材育成が叫ばれる今日、教育者として、また、経営者としての先生の生きざまから、今改めて学ぶことは多いと思います。「Think Global Act Local」とは、まさに水島校長のためにあるような言葉です。

## 記念事業の概要

### (1)講演会

#### ①神戸大学主催記念講演会

5月17日(土) 14～16時半、大分県中津市グランプラザ中津ホテル

学長挨拶、中津市長挨拶、大学紹介に続いて新野名誉教授講演(講演会終了後、大学関係者及び凌霜会員懇親会)

#### ②新野名誉教授特別講演(凌霜会、神戸大学六甲台後援会共催)

10月25日(土・ホームカミングデー)午後、出光佐三記念六甲台講堂

### (2)生誕地訪問

5月17日(土)、水島記念公園(先生生誕屋敷跡)視察

・ご逝去1年後に如水、凌霜両会有志で組織された「愛庵会」によって、昭和7(1932)年に生誕地記念碑建立。

・昭和39(1964)年、生誕百年を記念して凌霜会有志が

現地に集い、記念の日時計や遊具を整備。今回保存・再整備を企画。

### (3)記念室設置

水島先生の遺作・遺品に加え、先生の薫陶を受けた出光佐三、石井光次郎など諸先輩の遺品を含め、場所は六甲台図書館を中心に検討。

### (4)先生寿像(出光佐三記念六甲台講堂前)の説明板設置

### (5)寄附講義の開設

現在大学と協議を進めている凌霜会と共同して、学生向けに社会人教育や愛校心醸成のための授業を開設し、この中で先生の足跡他を紹介。

### (6)先生の伝記、業績などの小冊子作成

### ご賛同・ご参加のお願い

(1)中津での行事は遠隔地でもあり九州在住の卒業生ほか関係者を主に考え、現地集合、現地解散を予定していますが、都合の付く皆様には是非ご参加いただき、水島先生の生誕地にある水島公園なども散策いただければ幸いです。

(2)ホームカミングデー当日の新野名誉教授の講演会は、午前の大学主催の式典等に続いて例年午後に行われている凌霜会行事の一環として開催します。

卒業生に加え、学生の皆さんに一人でも多く参加いただき、水島先生の遺徳に触れていただくことは、在学生の皆さんの今後の学生生活に極めて意義あることと思っております。